

## 【 令和5年度 高山市社会人サッカーリーグ大会要項 】

- 趣 旨 本大会は、サッカー競技を通じ高山地区社会人の技術向上及び、  
チーム相互の親睦交流を図るものとする。
- 主 催 高山市サッカー協会
- 主 管 社会人競技対策委員会

### 【 競技規則 】

日本サッカー協会 サッカー競技規則競技規則2022/23に準ずる。

但し、以下10項目を追加、変更する。

- ① 試合時間は、70分（35－5－35） とする。
- ② 試合球は、FIFA承認・FIFA検定球を各チーム持ち寄りとする。
- ③ 選手交替は、提出済みの選手登録用紙に記載された選手の中からとする。  
※試合開始前までに、追加登録をLINE グループにて報告、及び個人登録料を振り込むことで参加資格を有することとする。（令和4年度追記）
- ④ 登録選手は、16歳以上（高等学校部活在籍者不可）とする。
- ⑤ 最低有効人員7名
- ⑦ 35歳以上の選手の交替はフリーとする。
- ⑧ 遅刻の規定は本部（審判担当チーム）時計により、5分－1点、10分－2点、  
15分－3点、15分以上の遅刻は、試合放棄とみなし、成績は0－7の負けとする。  
両チーム試合放棄の場合、両者0－0の引き分けとする。  
（両チームの話し合いでFMを行うことは可とする）（令和3年度改定）  
尚、試合時間は繰り越さない。
- ⑨ 試合方法は、1リーグ制とし、2回戦総当たりとする（参加チーム数により変動）
- ※ 令和5年度は、5チームによる総当たり2回戦を行う
- ⑩ 順位の決定は、勝点（勝3 分1 負0）、得失点差、総得点、当該チームの勝敗の順に決定し、  
それでも同率の場合は、抽選により決定する。

### 【 大会規則 】

- ① 参加可能チームは、最高で（Aリーグ：7チーム・Bリーグ：7チーム） 合計 14チーム とする。
- ② A・Bリーグの入れ替えは、Aリーグの下位2チームとBリーグの上位2チームが行なう。  
（H15年度改正）
- ③ 審判は、各チームに割り当てる事とする。  
※1チーム3名（主審1名・副審2名）で、必ず4級審判資格以上の公認審判員3名が担当しなければならない。  
担当チームに審判員の欠員が生じた場合、審判委員会に依頼（※1週間前までに）して、確実に試合運営を行うことが出来るようにする。  
但し、審判委員会に依頼した場合、審判請負手数料として、審判一人当たり3,000円を徴集する。（H22年度改正）  
（但し、中学生は不可）  
※審判不在のため、試合ができない場合 — 改めて施設予約をしなければならないため、審判担当チームは施設使用料の実費を支払うこと。
- ④ 審判は必ず、審判服（シャツ・パンツ・ソックス）を着用のこと（各チーム3着用意する）  
※ユニフォームの色が、紺、黒等、審判服との区別がつかない場合は、自チームで審判服を用意して審判に貸し出すこと。  
※寒さの厳しい時期のみ、副審については、黒系の防寒着を着用することを認める

⑤ ユニフォームは全員同一のものを着用すること。

※パンツ・ソックスも主なる色が同色のものを着用する。

※審判服（黒）と類似した色のユニフォームのチーム（原則として審判と区別の出来るユニフォームを用意しなければならないが、すでに購入しているチームに関しては、審判服（黄色、緑色、赤色等）を3着購入すること、ビブスも可）は試合開始前までに審判員に、チームで用意した審判服を手渡すこと。

※対戦チームとユニフォームの区別が付き難い場合は、ビブス（ユニフォームは着用のこと）を着用すること。（セカンドユニフォーム、又はビブスは必ず各チームで用意すること。）

※自分自身や他の競技者に危険となるような用具（指輪・ピアス等のアクセサリ類・メガネ（スポーツゴーグルは除く）など）は身につけてはならない。（試合前、用具チェックを厳格に行う）

※競技規則上、上記の事を守れない場合、試合に参加することができない。

但し試合開始前までに審判員及び相手チームに確認・了解が取れた場合は出場することができる。

⑥ 鍵担当チームは、借りてから返すまで責任をもって管理する。

⑦ 雨天中止の場合は、順延せず予備日に試合を行なう。

※鍵担当チームは、当日17:30までにグループLINEで中止の報告をする。

⑧ 設営担当チームは、必ず試合開始時間（19:30）までに設営（ライン引き・コーナーフラッグポストの設置）を完了すること。ただしゴールの設置は各チームで行なう。

⑨ グランド整備・ゴールの撤去は各チームで行なう。

※ コーナーフラッグポストの撤去は両チームが責任をもって行なう。

（H22年度改正）

⑩ 試合開始前までに、所定の参加者名簿（兼健康チェックシート）をLINEグループにて提出する。（新型コロナウイルス感染症対策の一環）※別途案内

⑪ 警告等の規定については、退場者は次の試合出場停止、累積警告2枚の者は次の試合出場停止。

（H22年度改正）

⑫ 試合中に乱闘等のFair Playの精神に反するような行為を行なったチームにはそのチームの登録選手全員、その日より1年間リーグへ参加を認めない。

乱闘行為を行った選手は、競技対策委員会で検討し、永久追放の処分も科せられる場合もある。

罰金等の処分は、競技対策委員会で検討の後、決定する。（H22年度改正）

⑬ 不戦負けの場合は、0-7のスコアとし、

※ FMとして、時間を有効に活用して、試合を行っても良いこととする。

（R3年度改正）

⑭ 試合前の落雷の危険性がある場合は、審判、両対戦チームで試合開始時間、中止等を協議し決定する。

※試合中において落雷の危険性がある場合には、主審の権限で即刻中断、及び中止すること。（試合途中で中止となった場合は原則として無効試合とし、再試合をしなければならないが、審判、両チームの協議の結果、中止の時点での試合成立も認めるものとする。）

※尚、落雷等で万が一事故が起きた場合でも当該試合の審判ならびに高山市サッカー協会（当リーグ実行委員会）は一切の責任を負わないものとする。

⑮ 試合中の接触プレーによる怪我等については、個人の責任においてスポーツ保険（傷害保険、賠償責任保険）に加入してください。

※大会の主旨を考慮し、相手に対しての賠償等を行わないようにお願いします。

（H31年度改正）

※大会において生じたすべての問題は、その都度、競技対策委員会において検討し、罰金・罰則等の処分を科すこととする。

### 【その他】

- ① 会場施設の使用には十分注意し、特にゴミ、ジュースの空き缶類はチームの責任において持ち帰ること。
- ② 試合後のグラウンド整備（特に雨天の場合）は、入念に行なうこと。
- ③ 駐車場でのゴミ、煙草の吸殻、ジュースの空き缶類もチームで責任を持つこと。
- ④ 駐車場での車輛等の破損事等は主催者側では一切責任を負わないこととする。
- ⑤ 試合におけるケガ等に対し主催者側では一切責任を負わないこととする。

※各チームで必ずスポーツ傷害保険等へ加入すること（必須）

⑥ 競技場での喫煙（道路、駐車場、トイレ周辺等のグラウンド以外の場所では認める。グラウンド内での喫煙については、確認次第登録抹消とする。）、飲酒は絶対禁止。（飲酒プレーは退場処分）守られないチームは、委員会で協議後、罰金等を科する。

（H22年度改正）

- ⑦ 本部席シャッターを開けてレフリーフラッグ等を使用できるようにする。
- ⑧ 試合結果報告（勝敗、スコア、警告・退場）について  
審判担当チームは、試合当日中にグループLINEで報告してください。（写メ可）

例) 飛驒FC 1-3 サンプドリア  
警告 飛驒FC 大坪  
退場 飛驒FC 田中

### 【各担当者注意】

- ※ 鍵・報告担当チームが、設営担当チームとする。グラウンド整備は両チーム。
- ※ 東屋（ベンチ）は、鍵・報告担当チームが、トイレ側を使用する。
- ※ グラウンド整備も、鍵・報告担当チームが、トイレ側を使用する。
- ※ 上の駐車場は、審判担当チーム、各チーム代表者1名のみ使用すること。
- ※ 鍵担当（照明・グラウンド倉庫）  
高山市役所 → 大八グラウンド(19:00) → 返却(21:45) 必ず時間までに返却のこと。
- ※ 雨天の中止報告は(17:30)に判断してLINEグループへ行う。
- ※ 飛驒高山ビッグアリーナへ中止連絡を行う。
- ※ 報告 審判担当チームが、LINEグループへ報告すること。
- ※ 備品等の把握 備品不足、破損等の場合は 委員長 まで連絡すること。
- ※ 割り当てられた担当の変更は、責任をもって個々で行なうこと。
- ※ 審判担当チームは、欠員が生じる場合、遅くとも1週間前には審判委員会に依頼すること。
- ※ 雨天中止の場合、ビッグアリーナ（34-3333）にも連絡すること。